

教育施設情報

施設名：群馬大学医学部附属病院

施設基本情報 **※施設情報について、各施設への直接のお問合せはお控えください。**

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3 丁目 39-15

URL：<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

診療科長/指導責任者

コース	診療科長	指導責任者
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	佐伯 浩司	佐伯 浩司/酒井 真
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	佐伯 浩司	佐野 彰彦
高難度脾・肝切除術コース	調 憲	新木 健一郎
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	調 憲	新木 健一郎
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	佐伯 浩司	白石 卓也

対応するプラン（コース/プログラム）

- 胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 高難度脾・肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型

各コースごとの年間手術件数

胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	35	件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	60	件
高難度脾・肝切除術コース	160	件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	80	件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	170	件

対応するプランごとの応募要件

コース	プログラム	応募要件
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件

腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
高難度臍・肝切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	肝胆臍高度技能専門医資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。肝胆臍外科高度技能専門医資格を有しているとさらに望ましい。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

対応するプランごとの到達目標

コース	プログラム	到達目標
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	手術見学を主体とし、術前準備や手術手技について理解する。
	短期	第二助手として参加し、手術手技を理解し術野展開ができる。
	中期	第一助手として参加し、適切な術野展開および術後管理ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	手術見学を主体とし、術前準備や手術手技について理解する。
	短期	第二助手として参加し、手術手技を理解し術野展開ができる。

ス	中期	第一助手として参加し、適切な術野展開および術後管理ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
高難度臍・肝切除術コース	超短期	手術方針と術式が理解できる。
	短期	術式が理解でき、手術方針が立案できる。
	中期	助手として参加でき、部分執刀ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	手術方針と術式が理解できる。
	短期	術式が理解でき、手術方針が立案できる。
	中期	助手として参加でき、部分執刀ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	手術見学を主体とし、術前準備や術式、手術の工夫について理解できる。
	短期	主に第二助手等で参加し、超短期の目標に加え、術野展開ができる。
	中期	主に第一助手等で参加し、短期までの目標に加え、術後管理ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

給与（中期間型プログラムおよび、長期間型プログラム）

- 中期間型プログラム、長期間型プログラムとともに給与の支給：あり

福利厚生

- 住宅手当/社宅：なし
- 院内保育園/提携保育園：あり（6か月以上の研修で申し込み時に空きがある場合）

施設の特徴：

- ✓ 手術に多く参加することができる。
- ✓ 手術の執刀の機会を多く提供できる。
- ✓ 幅広い症例を経験できる。
- ✓ ロボット支援手術を積極的に取り入れている。
- ✓ 手厚い指導が受けられる。
- ✓ 修練のシステムが確立している。
- ✓ 力量や修練期間に合わせて修練目標・プランの考慮が可能。
- ✓ 研究・学術活動の機会がある。
- ✓ 他診療科との連携が強い。

施設からの一言： 各診療科とも手術手技だけでなく、手術適応や周術期管理の指導も丁寧に行います。